

2017年度 知財情報分析委員会 成果報告

『中国特許情報収集・分析手法の調査研究』



2018年3月13日

中国IPG 知財情報分析委員会

小林義典(パナソニックR&D蘇州有限公司)

0. 委員会メンバー

17社20名

コニカミノルタ(中国)投資有限公司 北京分公司

奥林巴斯(中国)有限公司

東芝(中国)有限公司

パナソニック(中国)有限公司エコソリューションズ社

日立(中国)有限公司

東麗先端材料研究開発(中国)有限公司

旭硝子(中国)投資有限公司上海分公司

アルプス・中国有限公司

上海金天知的財産代理事務所

富士電機(中国)有限公司

大王南通生活用品有限公司

三菱重工業(中国)有限公司

矢崎(中国)投資有限公司

村田(中国)投資有限公司

日本技術貿易株式会社

安川電機(中国)

松下電器研究開発(蘇州)有限公司

中国特許出願数は近年加速的に「増大」

- ・事業関連特許分析では2万、3万件の特許を鳥瞰する必要もあり

中国で利用できる特許分析ツールも多くない

- ・日本語圏、英語圏では商用含め多数存在するが、中国語圏ではこの2年でようやく提供

特許分析手法に習熟した知財スタッフも多くない

2. 調査目的

企業活動に有用な知財情報の効率的な
調査分析手法を調査し、修得する

①知財分析情報の調査
(既存情報の収集)

②特許情報分析手法の調査
(ツール調査、分析専門家交流)

③特許情報分析の実践
(特定テーマで分析実施)

3. 調査研究方法

推進テーマ	具体活動	着地見込
①中国知財関連 既存分析情報 の調査	<ul style="list-style-type: none"> ・統計所在調査(annual、spot (特集)) ・特定分析情報・・・SIPO <ul style="list-style-type: none"> ■ネット、文献(白書など)調査 ■所在と、定期性と、データ特徴の整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務で利用できる 既存情報の種類、 所在等の整理
②中国特許分析 手法の調査	<ul style="list-style-type: none"> ・統計分析ツール ・テキストマイニング(文本挖掘)ツール ・可視化ツール <ul style="list-style-type: none"> ■中国での分析文献を収集、整理 ■専門家・業者に訪問ヒアリング 	<ul style="list-style-type: none"> ・ツールの調査、評価 →目的毎の最適 ツールの選定 ・ビジネスレベルの 分析手法の把握
③分析の実践	<ul style="list-style-type: none"> ・特定テーマで知財分析を企画、推進 <ul style="list-style-type: none"> ■4グループに分け、分析テーマ設定 ■ツールの利用方法、出力結果の見方 特許情報分析の概要と課題を把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・特許情報分析手法 の修得

4. 研究に基づく成果

② 特許情報分析に関する知識習得 (5-6月)

- ・日本文献(11文献)を中心に特許情報分析の手法、story構成等について学習。
- ・主として「テキストマイニング」について修得
→メンバーの知識レベルあわせ

③ 中国特許分析ツールの調査

- ・主に日本文献を中心に特許情報分析の手法、story構成等について学習。

incoPat 7/26
(incoshare社)

Patsnap 12/18
(智慧芽社)

KHCODER
(立命大prof樋口)

※CNIPR, Patenticsは時間調整つかずpending

④ 特許分析の演習（仮想具体テーマでのグループ演習）

- 4グループに分かれ、テーマ設定
- 「現状のPPF分析」「今後の技術展開予測(萌芽技術)」を実践
データ規模: 元データで3000件以上

① 分析企画

- テーマ
- 着地予測(ほしい情報)
- 情報分析STEP企画
- 条件設定
- スケジュールリング

② 分析実施

- ノイズ除去
- マクロ分析(統計等)
- セミマイクロ分析(TM等)
- ミクロ分析(明細確認)
- 結果のreview

③ 情報整理・考察

- 可視化
- 結論

※相互共有・意見交換
※課題の整理

4. 研究に基づく成果

④ 特許分析の演習（仮想具体テーマでの分析演習～課題抽出）

スマホのディスプレイに関する技術動向分析

～5年後のトレンドを予測する～

- TMにKHCODERを利用
- 「請求項」TMと「要約」TMの結果の対比
- 多次元尺度法分析と共起ネットワーク分析の活用→技術動向の仮説策定
- 最少出現数変化の影響評価（最適値有？）

※TMの有効性はよくわからない

4300件

EVバッテリーに関する技術動向分析

～技術トレンド把握、萌芽技術発掘～

- TMにKHCODERを利用
→重点KWの切り出しに活用
- 公開+登録案件と公開案件のTM結果比較により萌芽技術KWを抽出

※KHCODERの使い方未習熟

※分析結果の考察について修得必要

2500件

パン関連事業に関する技術動向分析

～現在の知財portfolioを鳥瞰～

- 統計分析による重要権利人動向の把握（CNIPR/incoPat利用）
- incoPatによる俯瞰分析により、各技術での主要playerを抽出

• ツールの利用方法がよくわからない

• 分析結果（分析図）の読み方がよくわからない

2200件

電器及EV用コネクタに関する技術動向分析

～5年後のトレンドを予測する～

- 重要player6社を抽出（日系3/中華系3）
- TMにKHCODERを利用
- 共起NW分析結果より、中華系3社の開発方向の差異を俯瞰（日系は共通点多）

※判断材料が不足？（今回統計+TMのみ）

→事業情報の付加、最終は読み込み必要

4700件

多数の母集合から特徴、トレンドを見出すために、
TM手法は一定の利用価値はある。

「KHCODER」は利用性○。が、更なる修得が必要
(条件設定の柔軟性、分析結果の可視化手法複数あり)

導入時、特許分析人員の継続的な育成が不可欠
(特に手法全体像の把握、分析企画、
分析ノウハウ把握(ツール特性等)、等)

継続

・特許分析ツールの調査

中文ツールの機能、価格、利用方法、等の対比

(CNIPR/Patenticsヒアリング、及びその他)

(incoPat、Patsnap、CNIPR、Patentics、等)

日米ツールとの対比評価

長所、課題の評価

・特許分析結果の考察手法修得

演習～委員会内部検討

専門家へのインタビュー

日本有識者との情報交換

2018年度も委員会継続予定

ご清聴頂き、ありがとうございました

**メンバーの皆さん、
一年間ご苦労様でした！**